



やまゆり

学校だより

令和5年4月14日
4号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する保護者との連携」

小中連携して「身近な平和を創る」

4月13日(木)の午後7時から、PTA新旧理事会・第1回専門部会を開催しました。お仕事や家事等でお忙しい時間に、新旧のPTAの理事さんにお集まりいただきました。本当にありがとうございました。佐藤隆光会長をはじめ、旧理事の皆さんには1年間本校のために尽力していただきましたことに心より感謝申し上げます。

また、新役員の予定者の皆さんには4月20日のPTA総会や今年度の活動方針や各専門部の活動等について協議していただきました。ありがとうございました。

新旧理事会の前の打合せ



令和4年度の佐藤隆光会長



PTA事務局 千葉教頭



本校の代表職員



令和4年度副会長の池谷さん



学校教育重点目標 「居心地良く、やる気のある学級づくり」・「小中連携」

小中連携して「身近な平和を創る」

4月14日(金)の3校時に小中学生の「対面式」を行いました。生徒会執行部が企画し、各学級で「身近な平和を創る」ための目標を立て、小学1年生から中学3年生までの9クラスの発表をしました。その目標の共通点は「人間関係の良さ」であることを捉え、それを実現するための具体的な方策として、「あいさつ」をしっかりとすることを全員で確認しました。

同じ屋根の下、そして共通の目標でより良い小中連携を実現しましょう。

生徒会長 景己さん



小学生の発表



(1年代表 陽万さん)



(2年代表 圭胡さん)



(3年代表 舞桜さん)



小中学校の各クラスの「身近な平和を創り出すため」の決意

- 小1 図工や体育の勉強を一生懸命頑張り、みんなと仲良く遊ぶ。
- 小2 やさしく、1年生のお手本になれるように頑張っていく
- 小3 全員が毎日楽しく学校に登校できる学級を目指す。
そのために、①自分から明るく元気に挨拶する。②休み時間は仲良く遊ぶ。③時間を守る
④友達と協力して楽しく生活する。
- 小4 居心地の良いクラスを作るために
①みんなで助け合おう。おはよう、ごめんね、ありがとうと言えるように。
②みんなの力になって、仲良くしよう。
③5, 6年生の力になって①, ②, ③年生のお手本になろう

- 小5 みんなと楽しく笑って過ごせるクラスを作る
 ①ルールを守る、切り替えを上手にする。
 ②係活動に積極的に取り組む
- 小6 誰もが安心して生活できるクラスを作る
 ①話しかけやすい雰囲気を自分から作って、明るく楽しいクラスにする。
 ②うなづきや、返事、切り替えを意識する。
 ③行事などで頼れるリーダーになる。
- 中1 みんなで支え合い、困っている人がいたら気づき、自分に何ができるか考え、主体的に行動していく。爽やかな挨拶を心掛ける。(陽万さん)
- 中2 相手の意見を否定しないで認め合おう。
 居心地の良さを自分達で作るために、相手の意見を否定するのではなく、認めながら意見を言ったり、誰の意見にも耳を傾けたりしよう。(圭胡さん)
- 中3 自分達の手で平和を創ろう
 ①相手の立場や、気持ちを考えて行動する
 ②本音で関わり合い、仲間を思いやっていく。(舞桜さん)

生徒会長(景己さん)

まとめとして、「友達を大切にし、挨拶を頑張る」ことを確認しました。
 同じ物、同じ場所を使う仲間だからこそ、共に感謝の気持ちをもちながら、どんどん話しかけて、お互いに関わり合っていこう。

各学級の身近な平和の目標発表後の意見交流

- 1年 優さん 挨拶はコミュニケーションの第一歩だから大切にしたい。支え合うことが大事だと感じた。
- 2年 杏奈さん 相手の話を聞いたときに、否定から入らずに、相手の考えを認めてから自分の考えを言っていきたい。その方が自分も認めてもらえる。
- 2年 脩大さん 相手の考えを否定せず、認め合うという考えをもっと広めていきたい。挨拶で、小学生や先生方、中学生が一体感を持てるよう頑張っていきたい。
- 3年 紫龍さん 挨拶や身近な平和を創ることなど、小学生も中学生も基本は同じ考え方なんだとわかり、小学生に親近感が持てた。もっと交流していきたい。
- 3年 舞桜さん 小学校も、中学校も大事なことは基本的に変わらないと思った。でも、別の視点で見ると、中学校はもう少しレベルアップが必要かも知れないと思った。

生徒の交流の様子



山梨県学校教育指導重点

令和5年度、山梨県の小中学校では、

全ての児童生徒が「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を培うために、次の学校教育指導重点に取り組みます。

指導重点 確かな学力の育成

○学習指導要領の趣旨を踏まえた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努めます。



指導重点 豊かな心の育成

○豊かな心の育成を目指し、校種を越えた連携や学校の教育活動全体を通じた取組を推進し、いじめを許さない集団づくりと安心できる環境づくり及び不登校児童生徒一人ひとりに対応した切れ目のない組織的な支援に努めます。

指導重点 健やかな体の育成

○学校の教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図り、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を相互に関連させながら、望ましい生活習慣の形成に努めます。



◇学級経営の充実◇ 主な取り組み

- 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級・学年等の集団づくりに取り組みます。
- 児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動に取り組み、一人ひとりのよさや可能性を生かすように努めます。

指導重点 地域や世界で活躍できる人材の育成

○地域の特色を生かした学習活動を通して、郷土への理解を深めることができるようにするとともに、児童生徒一人ひとりがグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。

指導重点 特別支援教育の推進

○特別支援教育に関する専門性の向上を図り、多様な学びの場（通常の学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校）における教育の充実に努めます。



これらを踏まえて、各学校で具体的な計画を立て、実行していきます。